

9月5日(水) 本年度第10回(通算2649回)12時30分～ 釧路プリンスホテル

## 『ライラセミナー報告会』

担当/新世代委員会

### ☆お客様と来訪ロータリアン

・釧路北ローターアクトクラブ 幹事 中村 理恵子君

### ☆出席報告【会員総数61名 免除7名 出席計算に用いた会員数61名】

9月1日の出席者 23名 37.7%  
本日の出席者 30名 49.2%

### ☆ニコニコ献金

- ・高橋 貢君～ ライラセミナー報告よろしくお祈いします。
- ・小林 裕幸君～ 同上
- ・吉田 茂樹君～ 誕生日記念です。
- ・松田 信明君～ 寒くなりました、やっとな秋です。
- ・坂入 信行君～ 本日の例会よろしくお祈いします。
- ・北山 幸徳君～ 入会記念日です、これからもよろしくお祈いします。
- ・布目 九一君～ 9月1回目の例会なので(九一)
- ・中嶋 嘉昭君～ 花束待っています、妻に顔がたちます。

## 会長挨拶

### ☆《高橋会長》☆



先日は兄の葬儀に際しまして、ご参拝、ご香料、献花など頂き誠にありがとうございました。この場をお借りしてお礼申し上げます。享年61歳で亡くなりました。13年前より腎不全で加療中でありました。兄の腎不全は病気ではなく不摂生と薬物が原因でありました。皆様もお体には十分気をつけてご自愛ください。

さて、8/31～9/2「未来を拓け」をテーマに網走観光ホテル、博物館、網走監獄を会場に第32回ライラセミナーが開催されました。入会の浅い会員を多くなりましたので簡単にライラセミナーの説明をしたいと思います。

ライラセミナーとは、ロータリー青少年指導者育成プログラムのことで、Rotary Youth Leadership Awardsの頭文字をとってRYLAと言います。参加年齢は14～30歳までの若者が集まり、手続き要覧では14～18歳、19～30歳が二つに分かれて実施するものであり、リーダーシップスキルと人格を養いながらロータリーについて学ぶ集中プログラムであります。ライラセミナーは宿泊、ワークショップなどの形式により2泊3日でロータリアンによる主催の元、地区の各ロータリークラブ持ち回りで開催されます。葬儀で今回のライラセミナーに参加できなかったこと非常に残念でありました。

### ☆幹事報告 《小林幹事》



- ① the rotarian 9月号が届いております。
- ② 根室・厚岸・弟子屈の各ロータリークラブより会報が届いております。
- ③ 釧路西・釧路東・釧路南・釧路ベイ・根室・浜中・弟子屈・厚岸の各ロータリークラブより9月例会の案内が届いております。

## ライラセミナー報告会



釧路北ローターアクトクラブ  
中村 理恵子君

皆様こんにちは

釧路北ローターアクトクラブ中村理恵子です。

このたびは、ライラセミナーに参加させていただき、ありがとうございます。どんな経験ができるのか、期待もあり不安もありましたが、今後に生かせる経験ができたと思います。今回のライラセミナーについて、これから当日のスケジュールに沿って報告させていただきたいと思いますので、よろしくお願いします。

国際ロータリー第2500地区2012～2013年度第32回ライラセミナー「未来を拓け！」2012 8.31(金)-9.2(日)の3日間参加してまいりました。

まずはじめに、ライラセミナーに参加するにあたり、目的について簡単にですが把握させていただきました。目的は、異なった職業に従事する青年たちが、共同生活を通じ、心を開き語り合い研修し、親交を深めることで、より良き社会人として、明日をリードする指導者としてさらに成長すること。そして、今年度の実行委員長の網走ロータリークラブ、マツイジョウ様よりいただいた3日間の行動指針はご覧のとおりです。



- 1、自主性・積極性を大いに発揮しよう！
- 2、出会いを大切にしよう！
- 3、来た時よりも美しく綺麗にしよう！

これを基本に、参加させていただきました。

それでは、3日間のプログラムの体験について報告をさせていただきます。

1日目のプログラムは以下の通りです。



- 12:00 登録・受付
- 13:00 開講式
- 13:30 オリエンテーション
- 14:00 研修 STEP1
- 17:00 チェックイン、夕食
- 19:00 研修 STEP2
- 21:00 グループ会議



まず、開講式が行われました。

ライラ委員会委員長様、ライラセミナー実行委員長、ホストの網走ロータリークラブ会長様、網走市長様よりお話をいただき、楽しみながら、親睦を深めたうえで、さまざまなことを学んでほしいとお言葉を皆様よりいただきました。14時から、さっそく研修がはじまりました。14時から17時までのあいだに、6つのゲームを通じた研修をおこないました。

1つ目が「とおoryんせとおoryんせ」こちらは、参加者が3グループに分かれ、会場の端からはしまでを歩くゲームでした。条件は、同じ列の人と同じ歩き方をしないこと。自己紹介などもなくはじまったので、少し照れくさい気持ちもありました。参加者のかたは、走ったり、後ろ歩きをしたり、ゴルフのスイングをしながら歩いたり、さまざまな方法で歩きました。この研修は、「人と違う考え方を持つことや、こんな方法もあるんだと気づきの場面を経験させる」というのが目的でした。

### 2つめに「犬のおまわりさん」

これは、6人で編成されたグループで、無言のまま首にかけられた文字を見て、いつの単語をつくるというゲームでした。こちらも、まだほとんど話していないグループのメンバーとの研修であったため、お互いに緊張しながら研修を受けました。無言で並び順をかえるため、全員が言葉を思い浮かなければ終わらないゲームで、制限時間までに終わらないグループなどもありました。この研修は、言葉のない中で意思疎通をはかるための研修でした。

### 3つ目は「自己紹介」でした。

自己紹介といっても、名前とどこから来たかという話のあとは、自分のいままでの経験の中で得た人生観や、哲学について2分間はなす。という内容で、簡単な内容ではなかったのが悩みました。グループ内では、「好きなこと、得意なことはだれよりも1番になれるように努力をしつづけている」「営業の仕事のため、信頼されるように沢山話すきかいをもつようにしている」「いろんな話ができるように、沢山本を読むようにしている」など、それぞれが色々な考えを持って生活していることを知りました。

また、この研修がはじめてグループ内での対話になりましたので、お互いにどう話したら理解してもらえるか、どんな考えを持っている人と今回活動するのかなど、考えながら受講することが目的でした。

### 4つめは、協力ゲーム

24枚のばらばらの図形のカードが机におかれ、6人で好きなカードを選んだあと、無言でカードを渡しながらか、全員が同じ図形になるようにカードを受け取るというものでした。無言での作業で、「このカードがほしい」ということができない内容だったため、お互いのカードをみて、この人にはこのカードが必要だ。という相手目線で考えないとできない内容でした。私たちのグループは、5名までは完成できましたが、最後の1人だけ並べ方がわからないまま終わりました。ここでは、相手目線で考えて行動、共有することや、各個人の気づきがあるかどうか、練習する機会になりました。

### 5つめはコミュニケーション

これは、リーダーを一人えらび、リーダーの言葉の指示だけで5人がそれぞれ行動するという内容でした。今回は、5人に9枚のトランプの大きさくらの紙がそれぞれ配られ、リーダーが1枚目は横にして上においてください、2枚目は縦にして1枚目の右下においてください、などの指示で動きました。5人全員に伝わるように、リーダーが話さなければならないため、一人が間違えると先に進めないなどの障害がありました。これは、一方的に話す人に対して、どれだけ話を理解できるかということを学ぶのが目的でした。

### 6つめは、「オリエンテーリング」

スライドに記載したとおりですが、4つの建物があらかじめ記載されている地図が5人に配られ、リーダーだけがもっている9つの建物がかけられている地図と同じになるようにリーダーが指示をするゲームでした。道案内を口頭でしながら記入していきましたが、本来の場所と少しずれたり、どの道案内をされているかわからなくなるなど、難しかったです。これは、リーダーにとっては言い方、感じ方、受け取り方を考えて話をする必要があること、5人は聞いた情報をどれだけ素直にきくことができ、正しい解釈ができるかが目的でした。

このあと、夕食をはさみ、2つの研修をおこないました。夕食後は、1つのテーマがあり、それに対して4つの回答から一つ選び、違う回答を選んだ人を説得するというゲームでした。内容は、青年団体の活動をしている28歳の社長が、妻から「青年団体をやめてほしい」と言われ、家出されてしまった場合の行動を選ぶもので、団体活動を理解してもらえなければ休会する。妻の親を説得する。団体活動を退会する。団体活動を理解してもらえなければ妻を家にいれないの4つでした。私のグループでは、退会するか、家にいれないかの2択で討論をしましたが、結果お互いに説得はできなかったものの、お互いの意見にたいしての考え方を理解することはできました。ここでは、青年団体とはなんなのかわからないという人がおおく、私がローターアクトとして活動していることや内容、やりがいや問題点などを話す機会がありました。理解できる部分と、理解できない部分があるような回答をうけました。ローターアクト、ロータリーという言葉だけではどんな活動をしているのか外部にわからないという問題点が私の個人的な意見としてでた研修でした。最後の部課長ゲームでは、図のとおり5人で担当をきめて、線につながっているところでだけメモで会話をすることが条件ですすみしました。4枚のカードをメモのやりとりだけで交換するため、なかなか意思疎通が伝わりませんでした。部長しか目的をしらない、部長が4人をどう動かすかためされる内容でした、最後に、グループ名、目標、リーダー、サブリーダーを決定し1日目が終了しました。

2日目のプログラムはスライドのとおりです。

- 7:00 カニチョッ筋体操
- 7:30 朝食
- 8:40 徒歩移動(山登り)
- 9:15 オリエンテーション
- 9:30 網走監獄紹介
- 9:45 基調講演「人として～あなたが変われば～」
- 11:00 体験学習
- 12:20 昼食(監獄食体験)
- 13:20 網走監獄見学
- 14:30 徒歩移動(山登り)
- 15:00 研修 STEP3
- 16:30 グループ会議
- 18:00 大懇親会

朝は、ラジオ体操ではなく、網走独特のカニチョッ筋体操をしました。両手でピースをしながら曲に合わせて体操するもので、面白い体験でした、1日目は私だけでしたが、2日目からは菊地真奈美会員も合流し、2人それぞれが別のグループで活動しました。朝食後、ホテルから網走監獄までは徒歩で移動しました。本来回り道になるので遠い距離を、網走ロータリークラブの皆様が手作りした山道を登って移動しました。こちらも面白い経験でしたが、かなり疲れしました。

## ライラセミナー報告会

網走監獄に到着し、まず職員の方から説明をききました。基調講演では、網走ロータリークラブの東様が講師となり、講和をいただきました。自分の考え方をまっすぐに行動するのはよいことだが、少し考え方をかえることで、新たな発見や、沢山の人の信頼関係を構築できるというお話をいただきました。

また、この方は30年以上、網走刑務所の収容者にたいして、年に1度同じ講和をしているとのことでした。

体験学習では、レンガづくりとまめわらじ作りをしました。レンガは、好きな形に加工して、好きな文字をいれるもので、みんなそれぞれ面白いものができた気がします。まめわらじは、以前網走監獄の収容者が、部屋でこっそりとお守り代わりに手作りしていたものだそうで、針をつかわずに作れるものでした。

昼食では、網走監獄で実際に出ていた食事を体験しました。あまりおいしくないんじゃないかな、と正直思っていました。うすあじの和食で印象が全然違いました。午後からは、網走監獄を見学させていただきました。ホテルに戻り、最後の研修がありました。

ここでは、少年が登場する物語をきいたあと、ぬきうちで10問の質問にこたえました。そのご、続きのはなしをしたあとにもう10問回答し、2回目のほうが正解率が高かったです。人は、何か目的がないと話さないがしろにしてしまうところがあることを再確認し、相手に伝えるためには何が目的になるのか、しっかりと明確に伝えたいうえで話をする大切さをおしえていただきました。

最後の研修では、遺言をテーマに、6人それぞれの考え方を知る機会になりました。テーマはスライドのとおりです。

最後に、この2日間のスライドを視聴し、この日の研修は終わりました。18時から懇親会を通じて、グループ紹介やゲームなど、なごやかな雰囲気でした。

3日のプログラムは以下の通りです。

- 7:00 カニチョッ筋体操
- 7:30 朝食
- 9:00 感想アンケート作成(個人)
- 9:30 グループ発表内容会議
- 9:50 グループ別発表
- 11:00 閉講式
- 12:00 解散

グループ別の発表が行われ、私たちのグループでは「伝達することの難しさ」と、「思いやりを持って対話することの大切さ」を学んだことを発表させていただきました。ゲームを通じたや講演、グループ活動で、いつもとは違う面で勉強する機会をもつことができたとおもいます。

以上で報告をおわります。ありがとうございました。